testo 317-2
ガス漏れ検知器

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法をご理解ください。この説明書は、いつでも、すぐに見ることができるようお手元に置いてお使いください。

感電の回避:
- 通電部品の上あるいは近くで計測を絶対に行わないでください。

計測器の保護:
- 計測器を溶剤(例えばアセトンなど)と一緒に保管しないでください。

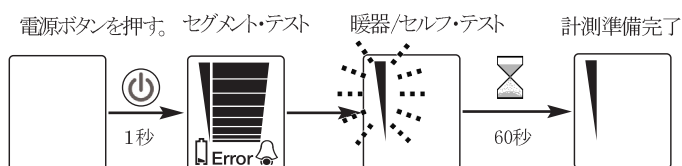
安全な取り扱い/保証条件の遵守:
- テクニカル・データに記載されている限度内の計測にご使用ください。
- 本書に記載されている注意事項を遵守し、正しくお使いください。
- 無理な力を加えないでください。
- 取扱説明書に記載されているメンテナンスのため以外、計測器を開いたり、分解しないでください。

処分:
- 使用済みのバッテリ(電池)は有害廃棄物として処分してください。

testo317-2取扱説明書 0973.3175J/01 (02.2007)

操作方法

電源オン

新鮮な空気中で検知器の電源を入れてください。まず、初期化が行われます。

暖器中は縦バーが点滅します。計測準備が完了すると縦バーが点灯し、短い警報音が断続的(数秒おき)に鳴り始めます。

ガスの検知

- 検知器のセンサ部(オレンジ色部分)を計測対象空気の流れに当てます。センサ部の空気取入口を塞がないよう注意してください。
- ガス濃度が警告開始閾値(メタン:100ppm、プロパン:50ppm)を超えると一番下のバーが点灯します。濃度が上がるにつれて順次、点灯するバーが増え、同時に警報音の鳴動間隔も短くなります。
- アラーム閾値(メタン:10,000ppm、プロパン:5,000ppm)を超えると警報が連続音に変わり、ディスプレイ上にアラーム記号( )が点灯します。

電源オフ

機能概要

testo317-2ガス漏れ検知器は、メタン(CH4)やプロパン(C3H8)ガスを検知して、警報とディスプレイによる警告表示を行います。

testo317-2ガス漏れ検知器を個人の安全確保用監視装置として使用しないでください。

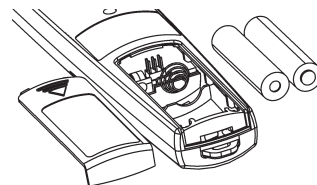
テクニカル・データ

項目	機能
計測範囲	0〜20,000ppm(メタン)、0〜10,000ppm(プロパン)
ディスプレイ	濃度傾向を8本のバーで表示
アラーム閾値	10,000ppm(メタン、20%LEL) *1 5,000ppm(プロパン、20%LEL) *1
警告開始閾値	100ppm(メタン)、50ppm(プロパン)
応答速度t90	5秒以下
暖器時間	60秒
電源	2 x 単4乾電池(1.5V) (LR03)
バッテリ寿命	約4時間
動作温度	-5〜+45℃
輸送/保管温度	-20〜+50℃
警報音	85dB(A)
CEガイドライン	89/336/EECに適合
保証	1年間

*1 20%LEL: 爆発下限界濃度(Lower Explosive Limit)を100%とした時の20%を意味します。

メンテナンス

バッテリの交換

1 バッテリ・ボックスを開けます。
2 空のバッテリを取り出し、新しいバッテリを挿入します。
  バッテリの極性(+/-)にご注意ください。
3 バッテリ・ボックスを閉めます。

検知器のクリーニング

- 検知器表面が汚れたときは、石鹸水などで湿らせた布で軽く拭いてください。研磨剤の入った洗剤等は使用しないでください。

トラブルシューティング

エラー状態	考えられる原因	対　策
が点灯	バッテリの残量がわずか(15分以下)です。	▶ バッテリを交換してください。
検知器の電源が入らない。	バッテリが空です。	▶ バッテリを交換してください。
ディスプレイ上に「Error」が点灯	検知器が高濃度ガス中に長時間晒されていたか、センサに汚れが付着しています。	▶ 電源投入(暖器)と切断を何度か繰り返すことで、センサに付着した汚れを落としてください。 ▶ 上記を行っても「Error」が消えない場合は、電源を切断し、テストー社または販売店にご連絡ください。

アクセサリ/スペア・パーツ

製品名	製品型番
ハンド・ストラップ	0516 3181
ベルト・クリップ付きキャリング・ケース	0516 0317